医学部専門予備校 英進館メビオ 福岡校 × 医学部進学予備校 メビオ / 医学部専門予備校 YMS heart of medicine

解答速報

久留米大学 医学部（推薦）　英語

2024年 11月16日実施

1	1	2	3	4	5	6	7	8
	(c)	(a)	(d)	(a)	(a)	(b)	(a)	(c)

2	1	2
	(b)	(a)

3	(1)			(2)			(3)			(4)		
	1	3	6	1	3	6	1	3	6	1	3	6
	(b)	(a)	(c)	(f)	(e)	(a)	(c)	(f)	(e)	(e)	(f)	(d)

4	1.						2.		
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)			
	(b)	(c)	(b)	(d)	(a)	(c)	(a)	(d)	(f)

5	1	2	3	4	5
	(c)	(d)	(a)	(b)	(c)

〈解説〉

1 文法・語法 4 択

1. 「明らかな違いがあるにもかかわらず, その 2 つのグループの個々の構成員は社会で混ざり, 交わった」
(c) mingled 「混ざりあった」
その他の選択肢の意味は，(a) flickered 「揺らめいた」，(b) grated 「摩擦を生じた」，(d) sufficed 「充分であった」

2. 「その大学におけるすべての講座は，適切な資格のある教授が教えていると大学のホームページには明記されている」
(a) qualified 「資格のある」
その他の選択肢の意味は，(b) rattled 「困惑した」，(c) slabbed 「厚い板で覆われた」，(d) tanned 「日焼けした」

3. 「彼らは 1990 年代の初めに賞賛の頂点に達したが，その後彼らが生んだものはせいぜい並みのものである」
(d) pinnacle 「頂点」
その他の選択肢の意味は，(a) coercion 「強制，抑圧」，(b) devastation 「荒廃，破壊」，(c) extremist 「過激主義者」

4. 「一般市民の間で懐疑論が広まっていて，データセキュリティの専門家の間でも，この計画に対する反対の声はほぼ一致している」
(a) disapproval 「非難，不承認」
その他の選択肢の意味は，(b) fauna 「動物相」，(c) irrigation 「灌漑（かんがい）」，(d) pesticide 「殺虫剤」

5. 「そのチームは，季節からしてその地域の天候が焼けるように暑くなるだろうと予想したが，実際にはそうでもなかった」
(a) blazing 「焼けるような」
その他の選択肢の意味は，(a) captivating 「魅惑的な」，(c) relieving 「軽減する」，(d) soothing 「なだめる」

6. 「文献におけるこの欠落部分を考慮に入れて，私たちの研究ではこの国の雇用主のために，上の空状態の労働者のもたらす損失を見積もることを試みた」
(b) disengaged 「稼働していない」
その他の選択肢の意味は，(a) covert 「秘密の，隠された」，(c) innate 「生得的な」，(d) rampant 「蔓延した」

7. 「近年，カメラ製造業者は，そのテクノロジーに磨きをかけ，複雑な動きの組み合わせを可能にする機構を開発している」
(a) intricate 「入り組んだ，複雑な」
その他の選択肢の意味は，(b) irrational 「理性的でない，不合理な」，(c) juvenile 「若い，若者の」，(d) literary 「文学の」

8. 「彼女が書いた論評は不快な内容を含んでいる，とそのサイトの運営者が決定したため削除されるという通知を受け取ったとき，彼女は言葉を失った」
(c) objectionable 「不快な」
その他の選択肢の意味は，(a) feeble 「貧弱な」，(b) hilarious 「陽気な，とても愉快な」，(d) shrewd 「鋭い，抜け目のない」

2 不要文削除

1. 英文のトピックは，「21 世紀における食物アレルギーの爆発的増加」である。
(b) については，筆者の子どもたち全員が家を出て，一人暮らしをしているという内容が，本文のトピックである「食物アレルギー」，もしくは「末っ子の事例」とまったく関係しないことは明らかである。
他の選択肢について言うと，(a) は，その直前までに語られた筆者の息子が抱える食物アレルギーという苦しみを受けつつ，そこからの解放を願う気持ちが述べられており，つながりは十分に確認できる。(c) は第 2 段落第 1 文として，第 1 段落最終文で示された，「食物アレルギーの爆発的増加」という話題を受けつつ，より具体的に説明を加えたものと理解できる。(d) についてもそうした具体例の一つとして自然なつながりである。

＜全訳＞
私の一番下の息子は，幼児の頃からピーナッツとゴマにアレルギーがある。命に関わる反応を起こしたことは一度もないが，そのリスクは常に彼につきまとっている。彼はほとんどのレストランで外食ができず，世界の多くの地域への旅行も難しい状況だ。食料品の買い物は一苦労だ。今では彼も自分の住まいを持っているが，私は常に不安を抱えている。彼がアレルギーを克服することをずっと望んできたが，21 歳になった今，ほぼ間違いなくそれは叶わない。彼と同じ状況の人々はますます増えている。原因はよくわかっていないが，21 世紀に入って食物アレルギーは爆発的に増加している。
ピーナッツは一般的な引き金であり，小麦，牛乳，卵，大豆，他のナッツ，魚，貝類も同様だ。「ビッグ 8」と呼ばれるこれらの食品以外にも，多くの果物，野菜，種子などへのアレルギーが広がっている。ビールにアレルギーがある人もいれば，大麻にアレルギーがある人もいる。人間が消費するものなら，どこかで誰かがそれにアレルギーを持っている可能性が高い。

不要文：(b) 私の子供たちは全員家を出て，今は一人暮らしをしている。

2. 英文のトピックは，「日本における空き家の増加」である。
第 1 文では，高齢化の進行とともに日本で空き家が増えているという問題が端的に示され，第 2，3 文では具体的な数が紹介されている。(a) の後に続く部分では，“Of these 9 million vacant homes” という書き出しで，第 2 文で示された「総数」を受けつつ，その内訳が説明されている。このことからすると，(a) の「調査の頻度」という話題は本文の流れを邪魔していると判断できる。
他の選択肢について言うと，(b) は，上述の「内訳」の説明の続きとして，つながりは十分に確認できる。(c) についても，直前で述べられた「最大の問題点」である放棄された空き家の数について具体的に述べており，つながりに問題はない。(d) は放棄された空き家がなぜ問題なのかを述べており，これも自然なつながりである。

＜全訳＞
日本の人口が高齢化する中，全国各地で空き家の数が記録的な増加を見せていて，多くの家が灯りのともっていない窓，ツタに覆われた壁，崩れかけた屋根という状態で放置されている。4 月 30 日に発表された政府の調査によれば，これらの「空き家」とされる住宅は全国で約 900 万戸に達し，これは日本全体の住宅数の 13.8%に相当する。つまり，およそ 7 軒に 1 軒が空き家という計算になる。総務省が発表した未確定の計算によると，この 900 万戸の空き家のうち，賃貸や売却を目的としたもの（新築物件を含む）は約 476 万戸にのぼる。また，約 38 万戸が別荘や，季節的あるいは一時的な使用を目的とした建物である。しかし，最大の課題は，使用目的が全くない放置された空き家の増加である。そのような家の数は前回の調査から 37 万戸増加し，過去最多の 385 万戸に達した。放置された空き家は，倒壊のリスクがかなり高い。不法投棄や放火といった犯罪の対象にもなりやすく，周辺地域の安全を脅かす可能性がある。

不要文：(a) この調査は 1948 年以来，5 年ごとに実施されている。

3 文中語句整序

(1) (Among top factors: how their) **adolescent or teen is behaving due** to symptoms **and if they can** get through a school day, the risk that they're **contagious and whether** (the student will miss a test, presentation or after school activity.)
「主な要素には，症状による子どもの様子や学校で一日過ごせるかどうか，子どもが他の人を感染させるリスク，そしてテストや発表，放課後の活動を欠席するかどうかということが含まれる」

"Among top factors" 「主な要因の中には」とあるので，コロンの後には要因の具体例が列挙されていると考える。空所直前の所有格 their が前文の "parents" を指していると考えれば，子どもを表す "adolescent or teen" を含む (b) adolescent or teen is behaving due が後続することがわかる。その後に (f) to symptoms を続け，<due to ~> 「～が原因で」という成句をつくる。さらに，how 節と if 節をつなぐ接続詞 and を含む (a) and if they can を続ける。助動詞 can の後に動詞の原形 get を含む (e) get through a school を置く。(d) の末尾の "they're" の補語に "contagious" が来るよう，最後は (d) day, the risk that they're, (c) contagious and whether の順にする。"a school day" で「学校での一日」，whether が "the student will miss a test, ~" を導く接続詞になっていることも確認しておきたい。

(2) (Another) **quarter of parents** would send their child **to school and hope** for the best while less than a fifth would let **their child decide**.
「さらに 4 分の 1 の親は子どもを学校に送り出し，何とか持ちこたえてくれることを願うと答えたのに対して，子ども自身に判断を委ねるとした親は 5 分の 1 未満であった」

<another + 数的表現> で「さらに～の」という意味を表すので，Another には (f) quarter of parents を置き，"Another quarter of parents" 「さらに 4 分の 1 の親」という主語をつくる。さらに述部として (b) would send their child を置き，(e) to school and hope を後続させ，<send ~ to school > 「～を学校に通わせる」という成句になるようにする。<hope for ~>「～を期待する」という表現になるよう，(c) for the best while less than と続ける。while は従属接続詞になるので，less than の後には節構造をつくる。(d) a fifth would let, (a) their child decide の順に並べて，<let O V 原形 ~> 「O が～するのを許す」という第 5 文型の形になるようにする。

(3) (Clark notes that) **in some instances, face** to face interactions may **trigger or exacerbate mental health issues, such** as a breakup with a romantic partner, a falling out with friends, or an **embarrassing incident shared on social media**.
「クラークが言うには，恋人との破局，友人との不仲，ソーシャルメディアで共有された恥ずかしい出来事といった，いくつかの事例においては，対面での他者との関わりが，メンタルヘルスに関する問題を引き起こすか，さらにそれらを悪化させるかもしれない」

notes の目的語になる that 節の中の構造を考える。(c) in some instances, face, (d) to face interactions may の順に並べ，"in some instances" 「一部の例では」が副詞句，"face to face interactions" 「対面の交流」が主語になるようにする。助動詞 may の後には動詞の原形から始まる (f) trigger or exacerbate mental health issues, such を後続させる。さらに，(d) as a breakup with a romantic と続け，<such as ~> 「～のような」という成句をつくる。<a romantic partner> で「恋人」という意味になることから，(b) partner, a falling out with friends, or an を置き，最後に (e) embarrassing incident shared on social media を並べて，不定冠詞 an と embarrassing がつながるようにする。

(4) (Nearly all parents) **polled say their** school has an attendance **policy, which they felt was** necessary to ensure children go to **school consistently**.
「聞き取り調査の対象となったほぼすべての保護者が，学校には出席規定があると答えており，彼らはそれを，子どもたちが毎日学校に通うことを確実なものとするために必要だと感じていた」

まず，“Nearly all parents” に対応する動詞 say を含む (e) polled say their を置く。ここでの polled は parents を修飾する過去分詞。say の後に目的語になる名詞節を導く接続詞 that が省略されていると考え，(a) school has an attendance を後続させて，節構造をつくる。さらに，(f) policy, which they felt was を並べると，<an attendance policy> 「出席規定」という表現をつくることができる。そして，(b) necessary to ensure と続けて，which [S] was [V] necessary [C] という先行詞 an attendance policy を関係代名詞 which で受ける構造をつくる。なお，“they felt was” という語の並びは，いわゆる連鎖関係節の構造であり，元の 1 文に戻すと，They felt that the attendance policy was necessary to ensure children go to school consistently. となる。<ensure (that) S V ~> で「確実に S が～するようにする」という意味になるので，(b) children go to，(d) school consistently の順に並べて，ensure の目的語とする。

4 長文読解

1. ［空所補充］

(1) (b) The (downside) is that the swipe-based dating apps can feel very impersonal and even very tiring.
「その欠点は，スワイプをベースとしたマッチングアプリは非常に人間味に欠け，とても疲労感を覚えることさえあるということだ」
他の選択肢の意味は，(a) sideway 「脇道，歩道」，(c) upstart 「成り上がり者」，(d) circulation 「循環」
この英文に含まれる impersonal, tiring さらには次の文の harassment, ghosting といった語から，マイナスイメージの downside を選ぶ。

(2) (c) Dating apps seem to be (losing) favour with Gen Z, unlike Millennials who make up the majority of dating app users.
「マッチングアプリは，ユーザーの大多数を占めるミレニアル世代とは異なり，Z 世代の支持を失いつつあるようだ」
他の選択肢の意味は，(a) slipping 「～を逃れている」，(b) averting 「～を避けている」，(d) gaining 「～を獲得している」
第 2 段落第 2 文より，ミレニアル世代がマッチングアプリユーザーの 61%を占めるのに対し，Z 世代は 26%でしかないことが確認できること，さらに第 3 段落以降も Z 世代がマッチングアプリを使用していない理由が述べられていることから，losing を選ぶ。

(3) (b) In a world obsessed with online (validation) — getting “likes” — Gen Z seems to be finding the impersonal nature of dating apps combined with the high risk of being spurned even more daunting.
「『いいね』をもらうというネット上の承認にとりつかれた世界にあって，Z 世代は，マッチングアプリの非人間的な性質を，拒絶されるリスクの高さも相まって，さらに気後れさせるものだと感じているようだ」
他の選択肢の意味は，(a) abstention 「慎むこと」，(c) sensation 「感覚，大騒ぎ」，(d) frustration 「挫折，欲求不満」
空欄直後の “— getting “likes” —” より，ネット世界の承認を示す語が入ることがわかる。したがって，「承認」を意味する validation を選ぶ。

(4) (d) Furthermore, users are all too (aware) that dating app companies simply prioritize profit over the user experience.
「さらに，マッチングアプリの開発企業はユーザーエクスペリエンスよりも単に利益を優先していることをユーザーは十分すぎるほど認識している」
他の選択肢の意味は，(a) imbibed 「吸収された，同化された」，(b) delighted 「喜んで」，(c) hasty 「迅速な，せわしい」
選択肢の中で that 節 があとに続くのは delighted と aware であるが，delighted では意味をなさない。

(5) (a) “Date me” documents, linked on social media bios, are another (upcoming) trend among Gen Z.
「ソーシャルメディアのプロフィール欄にリンクされた “Date me” ドキュメントは，Z 世代の間で今後のもう一つのトレンドとなるだろう」
他の選択肢の意味は，(b) delayed 「遅れている」，(c) backwards「逆行する」，(d) waylaid 「待ち伏された」
第 4 段落全体が，マッチングアプリ以外に Z 世代が頼る方法について述べられているので，この段落で紹介されるやり方は，何かしら「新しい」ものだと予想できる。他の選択肢では意味をなさない。

(6) (c) Surprising as it might be in the digital age, Gen Z seems to be leading a (shift) back towards a less digital and more personal approach to dating.
「デジタル時代にあって驚くべきことだが，Z 世代は，デートのやり方をあまりデジタルではなく，より個人的なものへと戻す流れを牽引しているようだ」
他の選択肢の意味は，(a) pause「一時停止」，(b) escalation 「（段階的）増大」，(d) spin 「回転」
この文の前半に「デジタル時代にあって驚くべきことだが」とあることから，Z 世代がデジタルな動きに逆行しているという内容になることから shift を選ぶ。

2. ［内容一致］

(a) 「マッチングアプリは，ミレニアル世代に比べて Z 世代の間では人気がなくなりつつある」
第 2 段落の内容と一致する。

(b) 「AI マッチングアルゴリズムの使用は，デジタル世代としての Z 世代に受けている」
第 3 段落第 6 文の内容に反している。「アプリを避けるもう一つの理由は，アプリの AI アルゴリズムがそれほどうまく機能していないと人々が感じていることだ」と述べられている。

(c) 「Z 世代はお金の心配のためマッチングアプリを完全に避けている」
本文中に言及なし。第 3 段落に Z 世代の間でマッチングアプリの人気がない理由が複数述べられているが，「お金の心配」については言及されていない。

(d) 「マッチングアプリを利用する Z 世代にとって，好ましくない印象を持たれることは懸念事項である」
第 3 段落第 2 文と合致する。第 2 文では「調査では，Z 世代は拒絶されることや否定的に評価されることを恐れている」と述べられている。

(e) 「Z 世代は，もっぱらソーシャルメディアの場でパートナーを見つけることを好む」
第 4 段落第 2 文の内容に反している。「以前と同様，ますます多くの大学生世代の Z 世代は，直接，友人を通じて，あるいは単に日常生活を送る中でパートナーを見つけようとしている」と述べられている。

(f) 「 “Date Me” のドキュメントは，Z 世代が自分自身のことをより多く共有するための手段である」
第 4 段落第 5 文と合致する。ここにある “These personalized Google Docs” とは “Date Me” documents のことであり，「これらの個人化されたグーグルドキュメントは，個人が自分の言葉で自分自身とパートナーに求めているものをアピールする，より踏み込んだ方法を提供する」と述べられている。

(g) 「本文によれば，マッチングアプリはパートナーを見つけるのにより効果的である」
文章全体で述べられているのは，「マッチングアプリが Z 世代から敬遠されている」ということである。第 4 段落全体に，Z 世代がパートナーを見つけるために使われている方法が複数述べられているが，それらに比べてマッチングアプリが「より効果的である」という記述はない。

(h) 「Z 世代は，デートにあまりデジタルなやり方をとらないという傾向をリードしているわけではない」
最終段落第 1 文の内容に反している。「デジタル時代にあって驚くべきことだが，Z 世代は，デートのやり方をあまりデジタルではなく，より個人的なものへと戻す流れを牽引しているようだ」と述べられている。

5 長文読解

1. Which is mentioned as a typical reaction of the Japanese to the inbound tourism in Japan?
「日本のインバウンド・ツーリズムに対する日本人の典型的な反応として述べられているのはどれか」
正解は (c) の「外国人が関心を持ってくれていることは好ましく思っているが，外国人が（日本に滞在中に）かかえる問題も理解している」である。問われているのは "a typical reaction of the Japanese" であるので，単なる事実を述べている第 1 段落第 2 文の "some high-profile incidents of inappropriate behavior by foreign travelers" は解答の根拠とならない。 "average Japanese" や "most Japanese people" に着目して解答の根拠を探すとよい。第 2 段落第 2 文に「たいていの日本人は外国人が持つ日本への関心を心からの賛辞ととらえていて，外国人旅行者が日本の独自の社会規範と学習困難な言語が原因で，日本滞在中に何ができて，何をすべきなのかに関して途方に暮れてしまうことがあることを理解している」との記述があり，これが選択肢 (c) の根拠となる。
問題文の英文のこの部分に関しては文法的に正しくない箇所があり，頭を悩ませた受験者もいたと思われる（ "between Japan's unique societal norms and difficult-to-learn language" の between は不要である)。ネイティブが書いた英文であっても文法・語法の誤りが含まれる場合もあるので悩んで時間を使いすぎないよう気をつけよう。

2. What is one of the main problems foreign tourists face when they come to Japan?
「外国人旅行者が日本に来た時に直面する主な問題の 1 つは何か」
正解は (d) の「日本の習慣は理解しがたい場合がある」である。ここでの「日本の習慣」とは，第 2 段落第 2 文にある外国人を困惑させる "Japan's unique societal norms" のことを指している。

3. According to the article, what is one of the topics covered in the new book?
「記事によると，その新刊で扱われている話題の 1 つはどのようなものか」
正解は (a) の「外国人が交通機関を使うのを助ける方法」である。第 4 段落第 1 文に "train stations" が扱われている場面の 1 つとして挙げられており，その具体例として同段落第 2 文で「行きたい場所に到着するために乗る必要がある電車を教えてあげること」が挙げられていることが根拠となる。

4. Which of the following statements is NOT true about the new book?
「その新刊に関して正しくない表現はどれか」
正解は (b) の「訪日外国人旅行者が日本滞在中にトラブルに巻き込まれないようにするために書かれている」である。第 3 段落第 1 文から，その本の目的は「困っている外国人観光客を助けるために必要な英語を，日本人に教えること」であり，日本を訪れる人のために書かれた本ではないことがわかる。

5. What did the author mainly have in mind when writing this new book?
「この新刊を書くにあたって，主に筆者が念頭に置いていたことは何か」
正解は (c) の「たいていの日本人が使いこなせる複雑ではない英語を提供すること」である。
最終段落最終文で「日本人の大人の多くは学んだ英語の多くを忘れている」と述べられ，筆者が心がけたこととして「覚えやすく，誤用や誤解の可能性を減らす，短く直接的なフレーズを使うこと」を挙げていることが根拠となる。

講評

1	［文法・語法四択］	（標準）	どの英文も理解しやすいものである。中には難解な語彙も含まれているが，明らかに文脈に合わない選択肢を消去することで，正解にたどりつくことも可能である。
2	［不要文排除］	（標準）	昨年度よりはやや易化している。前後のつながりを正しく意識して読めば適否の判断は十分に可能である。
3	［文中語句整序］	（標準）	「思春期の子どもが抱える精神的な不安」についての英文。全ての小問で動詞を含む選択肢が複数あるが，昨年よりも解きやすくなっている。
4	［長文総合］	（やや易）	「マッチングアプリを敬遠するＺ世代」についての英文。読みやすい英文である。問題形式は変わらず，空所選択も内容一致問題も解きやすく高得点が狙えるだろう。
5	［長文内容一致］	（易）	「外国人旅行者を助けるための英語表現本」に関する英文。昨年同様読みやすい英文であり，設問も素直で解きやすい。全問正解を狙いたい。

昨年度と比べて解きやすく，易化している。目標は 70%

メルマガ無料登録で全教科配信！ 本解答速報の内容に関するお問合せは… 英進館メビオ福岡校 0120-192-215 まで

医学部進学予備校 メビオ 0120-146-156 受付 9～21時(土日祝可・携帯からOK) 大阪市中央区石町 2-3-12 ベルヴォア天満橋 https://www.mebio.co.jp/

heart of medicine 医学部専門予備校 YMS 03-3370-0410 受付 8～20時(土日祝可) 東京都渋谷区代々木 1-37-14 https://yms.ne.jp/

医学部専門予備校 英進館メビオ 福岡校 0120-192-215 福岡市中央区渡辺通４-8-20 英進館 天神本館新2号館2階 https://www.mebio-eishinkan.com/